

COMET

TWINKLE 034FS-RS TWINKLE 034F-RS / 02F-RS TWINKLE 034 RS / 02 RS

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメットTWINKEシリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。TWINKEシリーズは小型・軽量モノブロックストロボをコンセプトとしたベーシックモデルのTWINKE RSタイプ、熱耐久性のあるクーリングファン内蔵のTWINKE F-RSタイプ、さらに高速連写対応のTWINKE 034FS-RSのラインナップがございます。付属のRSミニレシーバーを接続することでRS-発信器(別売)、RS-コントローラー(別売)からの無線シンクロが可能です。また、豊富なCXタイプアクセサリが使用可能です。なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいた上でご活用ください。

付属品

●ACコード4m黒丸J(インレット)		1本
●ハロゲンランプ	・TWINKE RSタイプ 50W	1本
	・TWINKE F-RSタイプ 200W	1本
	・TWINKE 034FS-RS 200W	1本
●CR-シンクロコード(5m)ストレート		1本
●ヒューズ	・TWINKE RSタイプ 6A	1本
	・TWINKE F-RSタイプ 6A	1本
	・TWINKE 034FS-RS 10A	1本
	(ヒューズホルダー内に格納)	
●ヒューズホルダーオープナー		1本
●取扱説明書		本書
●保証書		1通
●RSミニレシーバー(ロゴシール、取扱説明書、保証書)		1個
●RSミニレシーバー用アジャスター		1個

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1~4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6~7
4. 操作手順	8~9
5. 出力バリエーター	9
6. モデリングランプモード	10
7. ファンクションモード	10
8. 不発光警報	11
9. フォトセル	11
10. RSミニレシーバー	12~13
11. 過熱警報	14
12. モデリングランプの交換	14
13. ヒューズの交換	15
14. ガラスグローブの着脱	16
15. 保証とアフターサービス	17
16. 仕様	18~21

1 安全のため特にご注意ください



- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図は感電注意)を示しています。



○記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図は分解禁止)を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図はプラグをコンセントから抜いてください)を示しています。

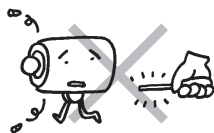
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警 告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部には、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部に長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態、素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



- モデリングランプの交換や清掃など、キセノンランプ部に触れるときは、ランプの電極部には絶対手を触れないでください。

メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も内部には長時間高電圧が残っており感電の恐れがあります。特に清掃を行うときは、一日以上使用していないときに限って行ってください。



- 本体スリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- ストロボは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



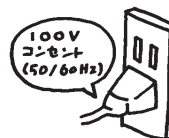
- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧はAC100V±10% (50/60Hz)です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。



- ACコードプラグを着脱するときは必ずメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

注 意



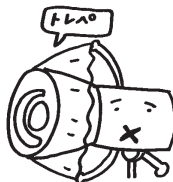
■使用中や使用直後はガラスグローブ、キセノンランプとモデリングランプはかなりの高温になります。十分に温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



■ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



■ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



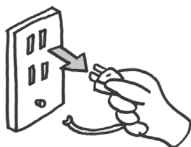
■落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



■使用後は安全のため必ずACコードをコンセントから抜きとるか、ブレーカーなどをOFFにしてください。

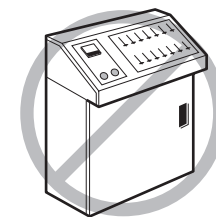
発火、火災の恐れがあります。



2 使用上のご注意とお願い

●調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。

●ストロボ電源部は使用しないときでも1ヶ月に1～2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。



●3ヶ月以上（10ヶ月未満）の長期間で使用にならなかったストロボ電源部は、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。

●10ヶ月以上の長期間で使用にならなかったストロボ電源部は通電せずに弊社クリニック課による点検（有料）を受けてください。

長期間で使用にならなかったストロボ電源部は、通電または発光をくり返すとコンデンサーが発熱し、発火、火災の恐れがあります。

●過酷な使用で万一過熱警報がはたらいたときはACパイロットランプ（MAIN）が点滅し、ブザーで知らせます。

TWINKLE F-RS タイプまたは TWINKLE O34FS-RS はモデリングランプスイッチを「OFF」にしてメインスイッチを「ON」にしてください。内蔵のクーリングファンで冷却効果が上がります。

TWINKLE RS タイプはクーリングファンがありません。

メインスイッチ（MAIN）を「OFF」にし、内部の温度が下がるまで使用を中止してください。

●赤外シンクロ装置（弊社製）の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。

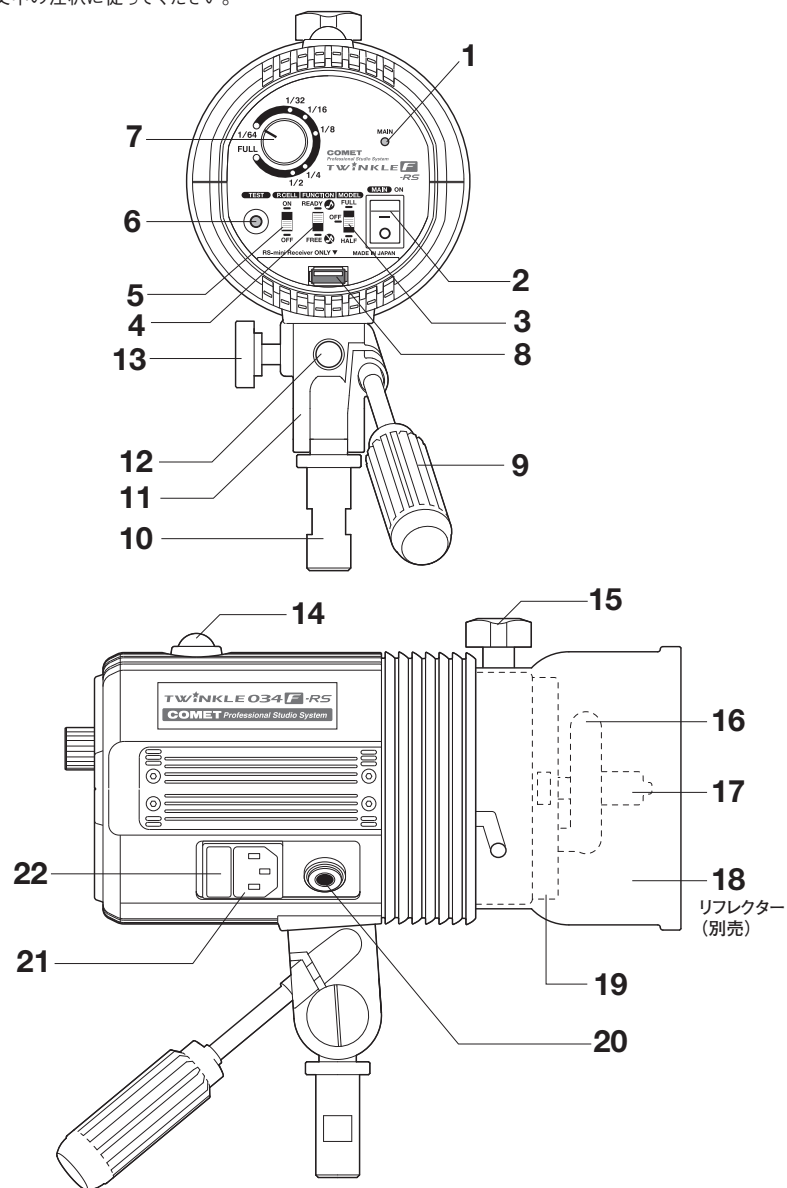
蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

●複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置（弊社製）で使用する場合は、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。この場合はすべてのストロボ電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。

赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のときは、同調発光しない電源部が出ることがあります。

3 各部の名称とはたらき

本書はTWINKLE F-RSタイプを基に作成されていますTWINKLE RSタイプ、TWINKLE 034FS-RSは文中の注釈に従ってください。

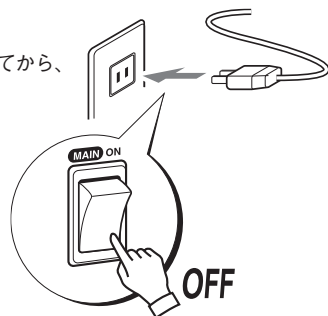


1	ACパイロットランプ (MAIN) / 過熱警報表示	メインスイッチを「ON」にすると点灯します。内部電子部品が所定温度以上になると過熱警報が作動しブザー音と共に点滅します。
2	メインスイッチ(MAIN)	AC電源スイッチです。使用後は必ず「OFF」にし、ACコードプラグをコンセントから抜き取ってください。
3	モデリングランプスイッチ (MODEL)	モデリングランプを「FULL/OFF/HALF」にします。
4	ファンクションスイッチ (FUNCTION)	充電完了前に発光させる場合「FREE」にします。通常は「READY」にします。
5	フォトセルスイッチ (P.CELL)	他のストロボ光を受けて同調発光させる場合「ON」にします。
6	テスト発光スイッチ (TEST)	充電完了後、軽く押すと発光します。
7	出力バリエーター	出力をFULLから1/64まで調光します。TWINKLE RSタイプは1/32まで調光します。
8	RSミニレシーバー接続コネクター	RSミニレシーバー（付属）を接続します。RSミニレシーバー以外の接続は絶対にしないでください。
9	パン棒	雲台を固定します。
10	ダボ	17φダボスタンドに立てます。
11	雲台	本体を支える部分で、パン棒により角度を調整して固定します。
12	アンプレラ取り付け穴	アンプレラを使用する場合は、この穴にアンプレラ軸を通します。
13	アンプレラ固定ネジ	アンプレラを固定します。
14	充電完了ランプ 不発光表示/フォトセル兼用	充電が完了すると点灯します。不発光が生じると点滅し、ブザー音で知らせます。フォトセル受光素子が内蔵されています。
15	リフレクター固定ネジ	リフレクターをセットしてネジで固定します。
16	キセノン放電管	ストロボの発光管です。使用中、使用直後はかなりの高温になります。絶対に手をふれないでください。
17	モデリングランプ	ハロゲンランプAC100V200Wまで使用できます。TWINKLE RSタイプはAC100V50Wまで使用できます。定格を必ずお守りください。
18	リフレクター	各種CXタイプアクセサリ（別売）が使用できます。
19	ガラスグローブ取付金具	シンクロガラスグローブ（別売）を取り付けます。TWINKLE RSタイプにはこの機能がありません。
20	シンクロソケット	ホーンジャックタイプのシンクロコード（付属）でカメラと接続します。
21	ACコネクター	付属のACコードで本機とACコンセントを接続してください。使用後は必ずACコンセントからACプラグを抜いてください。
22	ヒューズホルダー	ヒューズは電源部を保護します。定格は必ずお守りください。

4 操作手順

■ 1. AC コードを接続してください

メインスイッチ (MAIN) が「OFF」になっていることを確かめてから、AC コードを本体の AC コネクターへ充分差し込んでください。その後 AC プラグをコンセントへ差し込みます。



■ 2. ファンクションスイッチでモードを選択してください

ファンクションスイッチ (FUNCTION) を「READY」[「FREE」] のいずれかにセットします。

【詳細は 10 ページ 7. ファンクションモードをご参照ください。】



■ 3. メインスイッチを「ON」にしてください

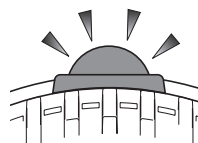
メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。AC パイロットランプが点灯し、充電が始まります。



■ 4. 充電の完了

充電が完了すると本体上部の充電完了ランプが点灯し、発光準備が完了します。
※充電完了ランプは不発光表示灯も兼ねています。

【詳細は 11 ページ 8. 不発光警報をご参照ください。】



【ご注意】

- 小出力時は充電時間が短くなりますが、連続発光は 50 回程度におさえ、一旦休止してください。休止時間は 3 分程度で結構です。

■ 5. テスト発光をしてください

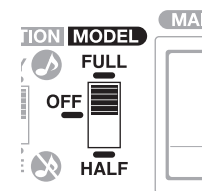
テスト発光スイッチ (TEST) を軽く押し、正常に発光することを確認してください。



■ 6. モデリングランプモードを選択してください

モデリングランプを使用する場合は、モデリングランプスイッチを「FULL」[「HALF」] のいずれかにセットします。

【詳細は 10 ページ 6. モデリングランプモードをご参照ください。】



■ 7. カメラとのシンクロを確認してください

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

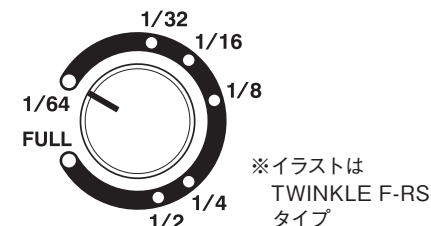
【お願い】

- 本番撮影をされる前にシンクロテストを行うことをお勧めします。
- カメラのシャッタースピードは 1/60 秒以下に設定してください。
※カメラ機種によっては同調するシャッタースピードが異なります。
- 後幕シンクロ撮影には対応していません。

5 出力バリエーター

ストロボ出力を下表の範囲で調光します。

品 名	ストロボ調光範囲
TWINKLE 034 FS-RS	FULL ~ 1 / 64
TWINKLE F-RS タイプ	
TWINKLE RS タイプ	FULL ~ 1 / 32



■ 出力バリエーターを下げたとき

本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力バリエーターを下げて内部のメインコンデンサーに蓄められている電気エネルギーは、直ちに新たな設定出力値までは下がりにません。この場合、テスト発光スイッチ (TEST) を押して一度空発光させてください。充電が完了すると新たな出力値に設定されます。

【ご注意】

- 出力バリエーターを 12Ws 以下に下げて断続的に撮影 (発光) をおこなった場合、本機性能により光量ばらつきが発生いたします。
(出力バリエーターを TWINKLE 02RS/02F-RS は 1/16 以下、TWINKLE 034RS/034F-RS は 1/32 以下に調光した場合。)
- 放電管の劣化具合により光量ばらつきが大きくなります。
- TWINKLE 034FS-RS をご使用の方
出力バリエーターを FULL から 1/64 まで一気に下げて発光させることを繰り返すと内部回路に負担がかかり、故障する恐れがあります。
この場合、1/8 程度に下げて 1 度空発光させてから 1/64 に下げてください

■ 出力バリエーターを上げたとき

設定された出力値まで自動的に充電が行われますので、空発光操作は必要ありません。この場合、充電完了ランプがいったん消灯し、充電が完了すると再点灯します。

6 モデリングランプモード

■ モデリングランプスイッチ (MODEL)

モデリングランプは 3 つのモードから選択することができます。

● FULL

モデリングランプが 100% の明るさで点灯します。

● OFF

モデリングランプを消灯します。

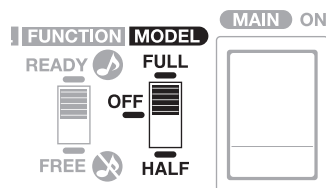
● HALF

モデリングランプが約半分の明るさで点灯します。

【ご注意】

TWINKLE RS タイプはクーリングファンを内蔵しておりません。

そのため、灯体を真下に向けて使用する場合はモデリングスイッチを OFF または、HALF にしてください。



7 ファンクションモード

■ ファンクションスイッチ (FUNCTION)

発光モードを 2 つのモードから選択することができます。

● READY

充電完了後のみ発光が可能です。

● TWINKLE RS タイプ / TWINKLE F-RS タイプ

充電中にブザーが鳴り、完了すると止まります。

● TWINKLE 034FS-RS

充電完了後にブザーが鳴ります。

● TWINKLE 034FS-RS の連続発光について

TWINKLE 034FS-RS はデジタル一眼レフカメラの高速連続撮影機能に対応した連続発光が可能です。

※右表はシンクロコード使用時の数値です。

RS ミニレシーバー使用時の発光回数は

9 回 / 秒迄です。

※連続発光回数はご使用の環境により変動する場合があります。



TWINKLE 034 FS-RS
連続発光回数・閃光時間

出力表示	Ws	発光回数 (回 / 秒)	閃光時間 (秒)
FULL	340	0.7	1/700
1/2	170	1	1/720
1/4	85	2	1/1100
1/8	42	3	1/1900
1/16	21	5	1/3100
1/32	10	8	1/5600
1/64	5	10	1/11000

● FREE

充電完了前の発光が可能です。このモードのとき充電音、不発光警報は鳴りません。

※充電完了前の発光は、光量が 100% ではありません。

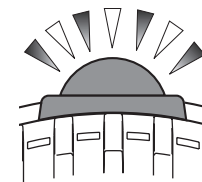
※過熱警報はモードに関係なく鳴ります。

8 不発光警報

■ 不発光警報

●ファンクションスイッチ (FUNCTION) が「READY」の場合
発光操作をしても、何らかの原因で発光しなかったとき、または充電完了前に発光操作を行ったとき、発光はせず充電完了ランプが点滅して、ブザーの連続音で知らせます。

●ファンクションスイッチ (FUNCTION) が「FREE」の場合
発光操作をしても、何らかの原因で発光しなかったときは、充電完了ランプが点滅します。



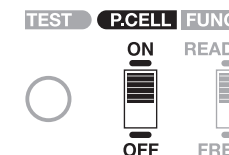
■ 警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すれば自動的に解除されます。また、メインスイッチ (MAIN) を一旦「OFF」にすることで解除できます。

9 フォトセル

■ フォトセルスイッチ (P.CELL)

他のストロボ光を受けて同調発光をさせる場合は「ON」にします。フォトセル受光部はストロボ本体上部の充電完了ランプに内蔵されています。

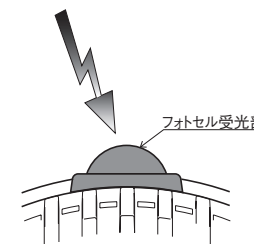


【ご注意】

●室内照明に蛍光灯を使用している場合は、フォトセル受光部を 50cm 以上離してセットしてください。蛍光灯の光の影響により、不発光や誤発光することがあります。また、フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。

●同調発光させない場合は「OFF」にしてください。

●赤外シンクロ装置で使う場合は、必ず各本体に 1 台ずつ赤外シンクロ受信器をセットして、フォトセルスイッチを「OFF」にしてください。フォトセルスイッチを「ON」にすると、発光しても同調発光しないものができます。



10 RS ミニレシーバー

本機に付属のRS ミニレシーバーを接続することで、弊社のRS-発信器（別売）または、RS-コントローラー（別売）で無線シンクロ発光することができます。

1. ストロボ本体のメインスイッチ（MAIN）を「OFF」にしてください。
2. RS-発信器または、RS-コントローラーとRS ミニレシーバーを同じチャンネルにしてください。



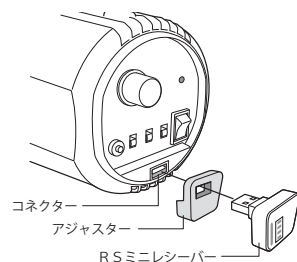
●チャンネル対応表

チャンネルナンバー	1CH	2CH	3CH	4CH
RS-コントローラー				
RS-発信器 RSミニレシーバー	スイッチ ポジション			

5CH	6CH	7CH	8CH	9CH	10CH

11CH	12CH	13CH	14CH	15CH	16CH

3. RSミニレシーバーにアジャスターをセットし、ストロボ本体のコネクタに接続してください。



4. ストロボ本体のフォトセルスイッチ(P.CELL)を「OFF」にしてください。
5. ストロボ本体のメインスイッチ(MAIN)を「ON」にしてください。
メインスイッチを「ON」にすると、RSミニレシーバーのパイロットランプが赤く点滅します。
6. カメラにRS-発信器または、RS-コントローラーを装着し、発信器とカメラの電源をONにします。
7. カメラのシャッターボタンを押して、カメラとのシンクロ発光テストをしてください。
無線シンクロ信号を受信すると、RSミニレシーバーのパイロットランプが点灯しストロボが発光します。

【ご注意】

- RSミニレシーバー接続コネクタの形状寸法はUSBコネクタと同様です。
RSミニレシーバー以外の機器を絶対に接続しないでください。
- RS-発信器、RS-コントローラーの使用方法につきましては各製品付属の取扱説明書をご覧ください。
- 無線シンクロ装置(弊社製)は無線LANと同様に2.4GHz帯の周波数を使用しています。
無線LAN環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。
その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってからご使用ください。
(使用周波数：2.427GHz～2.457GHz)
- RSミニレシーバーをストロボ本体に取付け、取り外しをする際は必ず、ストロボ本体のメインスイッチを「OFF」にしてください。
- RSミニレシーバーをストロボ本体から取り外したときは必ず、付属のコネクタキャップをストロボ本体の接続コネクタに取り付けてください。
接続コネクタ端子のショート、破損の原因となります。
- 撮影機材を移動・運搬する際は必ず、RSミニレシーバーをストロボ本体から取り外してください。
ストロボ本体の接続コネクタ端子に負荷がかかり、破損の原因となります。

11 過熱警報

長時間の連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になったときは、過熱警報が作動し AC パイロットランプ (MAIN) の点滅と、ブザーの連続音で知らせます。この時は、直ちに使用を中止してください。



【お願い】

●TWINKLE 034FS-RS / TWINKLE F-RS タイプ

モデリングランプスイッチ (MODEL) を「OFF」にしてメインスイッチ (MAIN) を「ON」にしてください。内蔵のクーリングファンで冷却効果が上がります。

●TWINKLE RS タイプ

TWINKLE RS タイプにはクーリングファンがありません。

メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にして、風通しの良い場所に置いてください。

12 モデリングランプの交換

モデリングランプスイッチ (MODEL) を「ON」にしてもモデリングランプが点灯しない場合は、モデリングランプが切れている可能性があります。

このときは、下記の手順でモデリングランプの交換をおこなってください。

1. TWINKLE 本体のメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ず AC コードをコンセントから抜いてください。

2. 取り外すときは反時計方向に回し、取り付けるときは時計方向に回してください。
必ず、右表の定格のものと交換してください。
モデリングランプはスクリューベースタイプ (口金 E11) です。

品 名	モデリングランプ定格
TWINKLE 034 FS-RS	100V - 200W 以下
TWINKLE F-RS タイプ	
TWINKLE RS タイプ	100V - 50W 以下

ご注意



- 使用している電源部のメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ず AC コードをコンセントから抜いてください。
- ハロゲンランプの定格は必ずお守りください。定格以上のハロゲンランプを使用すると、発熱で故障や損傷の原因となります。
- ハロゲンランプやキセノンランプは素手で触れないでください。指紋やよごれが付いたときは、アルコールなどで拭き取ってください。



- 使用直後は非常に高温です。
十分温度が下がってから取り扱ってください。
火傷の恐れがあります。

13 ヒューズの交換

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にしても、電源が入らない場合はヒューズが切れている可能性があります。

そのときは、下記の手順でヒューズの交換をおこなってください。

1. TWINKLE 本体のメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ず AC コードをコンセントから抜いてください。

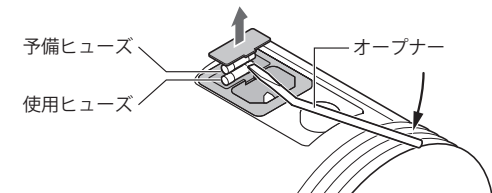
2. 付属のオープナーをヒューズホルダーの蓋の横穴に差し込み、図のように蓋を押し上げます。

3. ヒューズホルダーには 2 本のヒューズが入っています。

手前に予備ヒューズが入っていますので、奥に入っている断線したヒューズと交換してください。

必ず、下表の定格のものと交換してください。

品 名	ヒューズ定格
TWINKLE 034 FS-RS	10 A
TWINKLE F-RS タイプ	6 A
TWINKLE RS タイプ	



ご注意



- 使用している電源部のメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ず AC コードをコンセントから抜いてください。
- ヒューズは必ず表示されている定格のものを使用してください。
定格以外の使用は発火や火災の原因となります。

14 ガラスグローブの着脱

別売のガラスグローブを取り付ける、または取り外しをするときは次の手順で行ってください。
TWINKLE RS タイプにはガラスグローブは装着できません。

■ 取り付ける場合

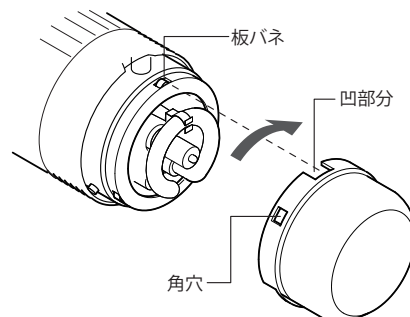
ガラスグローブ取付金具3ヶ所の板バネにガラスグローブの凹部分を合わせます。次にガラスグローブを時計回りに回転し、取付金具の板バネとガラスグローブの角穴を合わせ固定します。

■ 取り外す場合

ガラスグローブを時計回りに回転し、ガラスグローブ取付金具の板バネとガラスグローブの凹部分を合わせ、手前に引き抜きます。

【お願い】

- ガラスグローブの取り付け、取り外しの際はキセノンランプ、モデリングランプを破損しないよう注意して行ってください。



ご注意

- 使用直後は非常に高温です。
十分温度が下がってから取り扱ってください。
火傷の恐れがあります。



15 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のACコード、シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れてないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

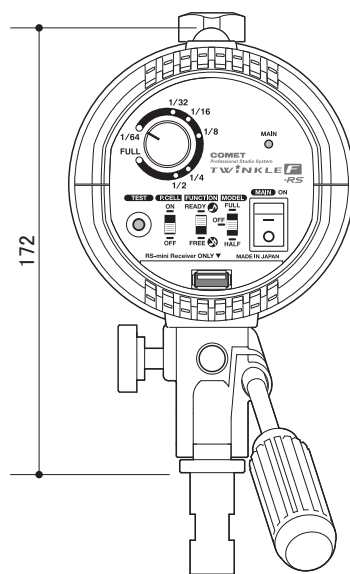
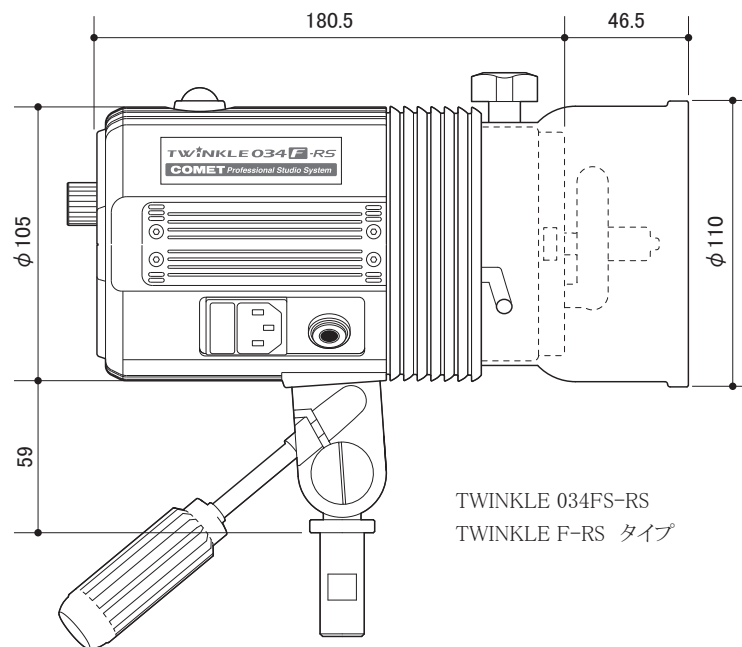
16仕様

品名	TWINKLE 034F-RS		TWINKLE 02F-RS		TWINKLE 034RS	TWINKLE02 RS
型式	TW-034F-RS		TW-02F-RS		TW-034RS	TW-02 RS
最大出力	340Ws		200Ws		340Ws	200Ws
定格電圧	AC100V±10% 50/60Hz		AC100V±10% 50/60Hz			
ヒューズ定格	6A		6A		6A	
ストロボ調光方式	電圧調光		電圧調光		電圧調光	
ストロボ調光範囲	FULL～1/64		FULL～1/32			
出力表示	バリエーター目盛		バリエーター目盛		バリエーター目盛	
モデリングランプ	100V200W以下		100V50W以下			
モデリング調光モード	FULL/HALF/OFF		FULL/HALF/OFF			
充電時間 (FULL)	(50Hz)	1.8 秒	1.2 秒	1.8 秒	1.2 秒	
	(60Hz)	1.6 秒	1.0 秒	1.6 秒	1.0 秒	
閃光時間(FULL)	1/700 sec	1/1000 sec	1/700 sec	1/1000 sec	1/700 sec	1/1000 sec
レディーランプ	スレーブセンサーキャップに内蔵		スレーブセンサーキャップに内蔵			
シンクロソケット	ホーンジャックタイプ×1		ホーンジャックタイプ×1			
無線シンクロ	RSミニレシーバー接続コネクター×1		RSミニレシーバー接続コネクター×1			
シンクロ電圧	DC 12V		DC 12V			
色温度(FULL)	5500K		5500K			
フォトセル	内蔵(スイッチ付き)		内蔵(スイッチ付き)			
ファンクションモード	READY: 充電完了後発光(充電中音) / FREE: 充電中発光(消音)		READY: 充電完了後発光(充電中音) / FREE: 充電中発光(消音)			
不発光警報	ファンクションモードREADY時 ブザー連続音 及び充電完了ランプ点滅		ファンクションモードREADY時 ブザー連続音 及び充電完了ランプ点滅			
過熱警報	ACパイロットランプ点滅と ブザー連続音		ACパイロットランプ点滅と ブザー連続音			
クーリングファン	内蔵		なし			
適合リフレクター	TW-CLリフレクター (CXタイプ)		TW-CSリフレクター (CXタイプ)			
ガラスグローブ	シンクロンガラスグローブ(110φ) 別売		取付不可			
寸法	105(φ) × 180.5(ℓ) mm		105(φ) × 150(ℓ) mm			
重量	1.55 kg		1.37 kg		1.41 kg	1.23 kg

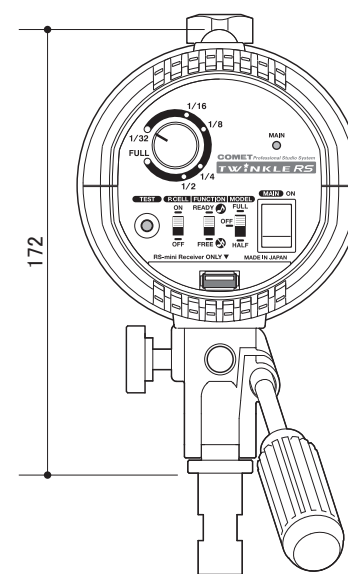
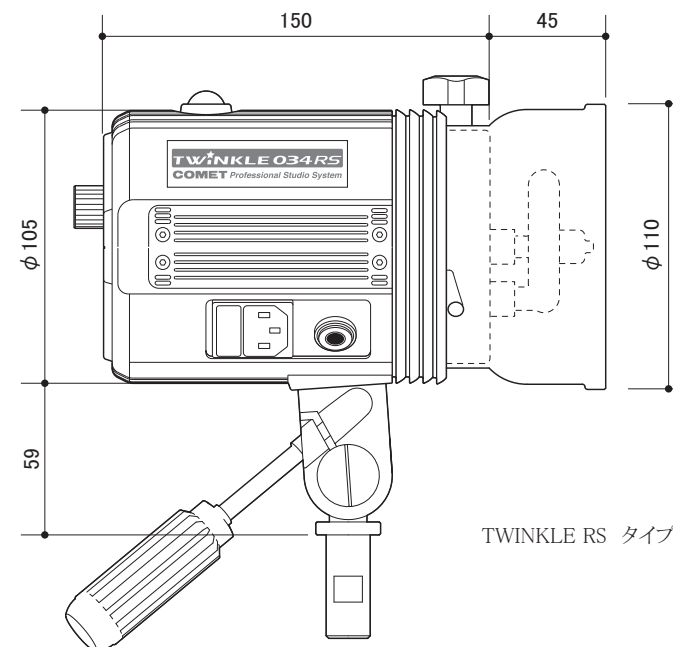
品名	TWINKLE 034FS-RS	
型式	TW-034FS-RS	
最大出力	340Ws	
定格電圧	AC100V±10% 50/60Hz	
ヒューズ定格	10A	
ストロボ調光方式	シリーズカット調光・電圧調光	
ストロボ調光範囲	FULL～1/64	
出力表示	バリエーター目盛	
モデリングランプ	100V200W以下	
モデリング調光モード	FULL/HALF/OFF	
充電時間 (FULL)	(50Hz)	1.4 秒
	(60Hz)	1.2 秒
連続発光回数	シンクロコード使用: 調光1/64の時 最大10回/秒 RSミニレシーバー使用: 調光1/64の時 最大9回/秒	
閃光時間(FULL)	1/700 sec	
レディーランプ	スレーブセンサーキャップに内蔵	
シンクロソケット	ホーンジャックタイプ×1	
無線シンクロ	RSミニレシーバー接続コネクター×1	
シンクロ電圧	DC12V	
色温度(FULL)	5500K	
フォトセル	内蔵(スイッチ付き)	
ファンクションモード	READY: 充電完了後発光(充電完了音) / FREE: 充電中発光(消音)	
不発光警報	ファンクションモードREADY時ブザー連続音 及び充電完了ランプ点滅	
過熱警報	ACパイロットランプ点滅とブザー連続音	
クーリングファン	内蔵	
適合リフレクター	TW-CLリフレクター (CXタイプ)	
ガラスグローブ	シンクロンガラスグローブ(110φ) 別売	
寸法	105(φ) × 180.5(ℓ) mm	
重量	1.57 kg	

● 本仕様は2025年4月現在のものです。改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

TWINKLE F-RSタイプ / TWINKLW 034FS-RS 寸法図



TWINKLE RSタイプ 寸法図



検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検		こんな症状はありませんか		このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、弊社営業所または販売店にご相談ください。
		●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感じる ●その他の異常や故障があるとき		

●ストロボは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについては

最寄りの弊社営業所、またはストロボクリニック課にご相談ください。

COMET®

コメット株式会社

本社	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
東京営業所	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5788	FAX.(03)5916-5875
東京営業所 コマーシャル課	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5789	FAX.(03)5916-5876
東京営業所 ストロボクリニック課	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5794	FAX.(03)5916-5878
東京営業所 名古屋連絡所	〒463-0813	名古屋市守山区吉根南 501 101号室	TEL.(052)737-3175	FAX.(052)736-2841
大阪営業所	〒531-0075	大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
大阪営業所 ストロボクリニック課	〒531-0075	大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
海外事業部	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
産業機器部	〒174-0063	東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5787	FAX.(03)5916-5874